

化粧品・食品・医薬品の製剤化に必要な 乳化技術と安定化対策

日時
2019年 6月26日 (水)
10:30 ~ 16:30

税込受講料

1名 37,000円+税

2名以上1名 34,000円+税

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線(緩行線)
地下鉄東西線(A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線(A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかでお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルはお受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室(東京都千代田区富士見1-5-1)

講座の概要 研究・開発において成書を読んで理解できても、現場ではうまく活用できていないケースはよくあります。本講座では、化粧品、食品、医薬品での乳化製剤開発における乳化技術とその安定化対策・評価技術について解説します。これらを基礎から体系的に学ぶことで、現場ですぐに役立つ知識になるように構成します。

プログラム

講師 花王株式会社 ビューティケア研究センター
スキンビューティ研究所 上席主任研究員
博士(工学)、山形大学 客員教授 岩井 秀隆氏

- ・ 乳化剤の特性と乳化の基本
 1. 乳化剤の基本物性と分類
 2. 乳化剤の基本物性と分類
 3. 乳化剤の物性コントロール
 - ・ 相図を用いた乳化・可溶性の状態
 - 1. 3成分系(乳化剤/油/水)相図の読み方・描き方
 - 2. 実用系乳化技術の解釈
 - 3. 乳化プロセスとエマルションの状態
 - ・ 相図を利用した製剤設計の活用例
 - ・ 安定な乳化製剤の設計技術
 - 1. エマルションの安定化の理論とポイント
 - 2. 乳化安定性向上の具体的対策
 - 3. 適切な乳化剤の選定技術
 - ・ 乳化分散系の評価技術
 - 1. エマルションの物性評価法
 - 2. 乳化安定性評価法
- Solution and Consulting / 質疑応答
【事前アンケートのご質問事項を解説致します】
内容によって一部回答できない場合がございますのでご了承願います

お申込・お問合せは

主催 **ISS 産業科学システムズ**
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 化粧品・食品・医薬品の製剤化に必要な乳化技術と安定化対策

セミナーコード

1101-190626

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2019/6/26 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	()
			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				